

研究協力をお願い

昭和医科大学藤が丘病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

内頸動脈狭窄症と頸動脈形状の関係性について

1. 研究の対象および研究対象期間

2022 年 1 月～2023 年 12 月に昭和医科大学藤が丘病院で頸動脈の MR アンギオ検査を実施した方の画像データを使用します。

2. 研究目的・方法

総頸動脈から内頸動脈と外頸動脈に分岐する部位は血管内プラークや石灰化による狭窄症の好発部位であり、特に内頸動脈に狭窄を起こしやすいです。頸動脈周辺の血流速度がプラークや石灰化に影響していることが先行研究によって報告されています。そのため頸動脈分岐部の角度を計測することで、内頸動脈狭窄症を起こしやすい血管形状を把握し、罹患リスクを予測することを目的とします。

本研究では、頸動脈の MR アンギオ検査を実施した患者の画像データを用いて、3 次元的に頸動脈分岐部の形状について後ろ向き検討を行います。過去に頸動脈の MR アンギオ検査を実施した症例データを用いて、頸動脈分岐部の角度を 3 次元的に計測する。データは頸動脈の MR アンギオ検査を実施した患者の画像データのみを使用いたします。解析データは頸動脈 MR アンギオ検査を実施した画像データから Ziostation2 を用いて、総頸動脈から内頸動脈及び外頸動脈に分岐する角度を測定いたします。患者データは、病院内の装置付随のワークステーションにて「3. 研究に用いる試料・情報の種類」に記載した情報を取得いたします。

3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2026 年 3 月 31 日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

2022 年 1 月～2023 年 12 月に昭和医科大学藤が丘病院で頸動脈の MR アンギオ検査を実施した方の画像データを使用いたします。

5. 外部への試料・情報の提供

「該当いたしません」

6. 研究組織

昭和医科大学藤が丘病院 放射線技術部 岡嶋 弦汰

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学藤が丘病院 放射線技術部 氏名：岡嶋 弦汰

住所：224-8503 神奈川県横浜市青葉区藤が丘 1-30 電話番号：045-971-6234